

札幌地区バスケットボール協会U-12部会
関係各位

新型コロナウィルスに関する活動中止の通達

令和2年（2020年）2月27日（木）
会長 齊藤 八起

日頃より、当連盟の事業に対してご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。各チームとも新人戦を終え、卒団式に向けた準備を進めていられることと思います。一方、新型コロナウィルス感染拡大がみられ、子どもたちの体調や活動をどのように進めていくべきか、不安や心配でいっぱいなのではないかと皆様のご心中をお察しします。

そんな中、本日札幌市より「本日2月26日（水）から3月15日（日）の期間、学校開放の体育館利用を停止する」旨のお知らせがありました。

よって、感染拡大防止を徹底するため、当連盟として以下の対応を通知いたします。

記

＜内容＞ミニバスケットボール少年団やクラブに関わる活動、並びに行事等を全て中止とする
具体的には、人が集まる機会をもたないようにするために、ミニバスケットボールの全ての練習や試合（練習試合も含む）、卒団式、プレーヤーと保護者などとの食事会や交流会など

＜期間＞令和2年（2020年）2月26日（水）から3月15日（日）まで
(期間は予定であり、期間の短縮や延長の可能性があります)

＜対象＞札幌地区バスケットボール協会U-12部会所属の全チーム

今回の措置にあたり、各チームで卒団式を迎える6年生の気持ちについて深く考えたことはいうまでありません。しかし、子どもたちをはじめ、ミニバスケットボールに関わる全ての方々の健康と安心、安全を守るために苦渋の決断であったことをどうかご理解ください。

現在の状況が改善し、事態が落ち着いた頃に改めて「卒団式」を行っていただけますよう、各チームでぜひご検討いただければと思います。

一日も早く、子どもたちがまたミニバスを楽しめる日常が戻ることを、切に願っております。

以上